

令和2年7月豪雨災害義援金の精算と監査を行いました

市内外から支援いただいた義援金は、次のとおり精算と監査が終了し、適正と認められました。残額は、人吉市災害義援金配分委員会の決定により人吉市社会福祉協議会へ寄付しました。また、口座解約時に発生した利息144円も同協議会へ寄付しました。

精算内容	
受入額合計	47億1817万1,437円
配分額合計	47億1817万252円
残額	1,185円

問合せ 市被災者支援対策課生活再建係 (☎22-2111 内線1273)

公園の未来を語る会を開催しています

中川原公園と人吉城跡公園の利活用を検討するため、市では市民の皆さんからの意見を聞き、将来像について考え共有するための「公園の未来を語る会」を10月から開催しています。同会でも出された意見やアイデアを一部紹介します。

中川原公園の未来を語る会

第1回(10月14日開催)

市民からの意見・アイデア

- ・川に親しめる場所として整備してほしい。
- ・人吉城跡と一体となった景観を大事にしたい。

第2回(10月28日開催)



▲現地を確認後、公園の魅力ややってみよう活動のアイデアなどを出した

市民からの意見・アイデア

- ・誰もが集えて自由に使える場所にしたい。
- ・人だけでなく球磨川の生物なども触れ合える公園になればよい。

申込・問合せ 市都市計画課計画公園係 (☎22-2111 内線2213)

電子メール toshikeikaku@hitoyoshi.kumamoto.jp

人吉城跡公園の未来を語る会

第1回(11月11日開催)



▲グループに分かれ、公園の魅力や課題点、利活用のアイデアなどを出した

市民からの意見・アイデア

- ・木陰で休憩できる場所があればよい。
- ・市民みんなが人吉城の歴史や魅力を語れるようになればよい。

今後の開催予定

第3回中川原公園の未来を語る会

期日 12月9日(土)

時間 午前9時30～正午

場所 市役所2階201会議室

※事前申込制。市都市計画課の窓口や電話、電子メール、下の2次元コードから申込んでください。

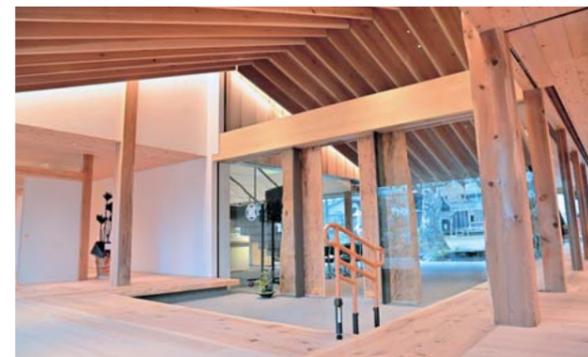


▲申し込みフォーム

歴史と文化をつなぎ未来へ 青井の杜国宝記念館開館式



青井阿蘇神社のかやぶきをイメージした屋根の木造2階建て



随所に市房杉や狭野(さの)杉などの銘木が使われている

青井阿蘇神社国宝指定10周年記念事業の一環として建設された「青井の杜国宝記念館」が全面開館し、11月10日に開館式が行われました。同記念館は世界的建築家・隈研吾さんが設計し、地域住民からの寄付や木材の提供を受け今年9月に完成。開館式で福川義文宮司は「人吉球磨の歴史・文化をつなぎ、豊かな未来を開くよりどころとなるよう、まい進します」とあいさつ。現在、特別企画展が開催中で、隈さんがこれまで手掛けた建築の模型や神社に伝わる宝などを見ることが出来ます。



特別企画展は令和6年2月まで開催

多くの人たちの来訪を願って 球磨工高から球磨川くだりへ舟くぎ贈呈

球磨工高の機械科3年生が授業で製作した舟くぎ100本を球磨川くだり株式会社へ寄贈し、11月14日に発船場で贈呈式が行われました。同高では地域貢献活動として10数年前から舟くぎの寄贈を行っています。贈呈式では同高の尾方勇二さんが「令和2年7月の豪雨災害で多くの船が被災したことを知り、二度と災害が起きないように思いを込めて作った。球磨川くだりが1日も早く再開し、多くの人たちが人吉球磨を訪れることを願っている」とあいさつし、舟くぎを手渡しました。



寄贈した舟くぎは新しい船の製造や修繕などに使われる予定

地域ぐるみで子どもをサポート 令和5年度学校支援ボランティアの集い

市内小中学校での教育活動や環境整備などをサポートする学校支援ボランティアと教職員、教育関係者の親睦を図る「学校支援ボランティアの集い」を11月19日に開催しました。初めに同ボランティアを運営する市地域学校協働本部の松本憲吾本部長が「保護者や先生だけでなくカバーできない部分をボランティアの皆さんに支えていただき感謝している」とあいさつ。その後、令和4・5年度の活動を振り返り、活動の喜びや課題を語り合う交流懇談会を行いました。



交流懇談会で親睦を深める参加者